

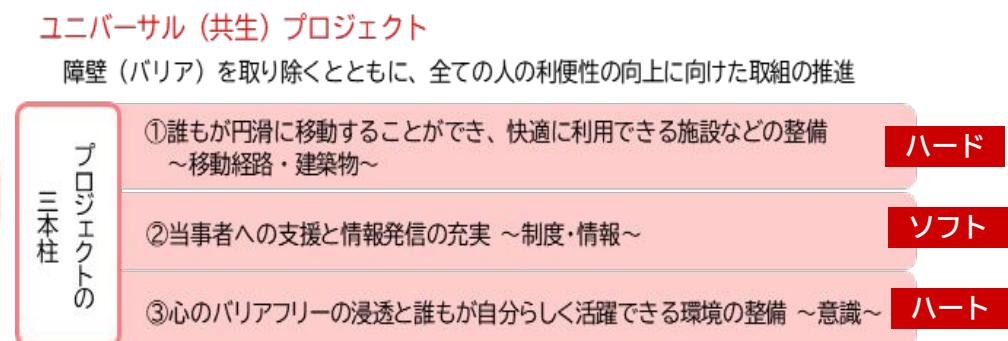
# 資料 1

ユニバーサル関係施策・事業の進捗状況  
(2024年度実績)

# ユニバーサル関係施策・事業の進捗状況（2024年度実績）

## ①ユニバーサル推進体系

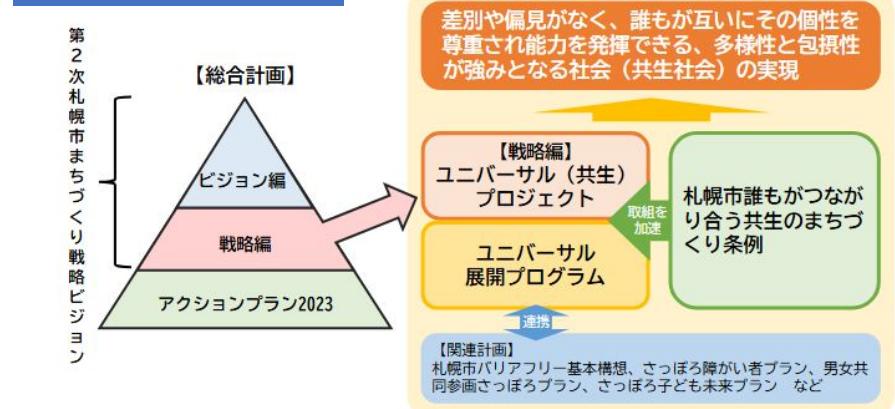
- ユニバーサル関係施策は、障がい、性別、高齢者、子ども、国籍（多文化共生）、民族等の多岐のテーマにわたっており、各分野の課題は複雑化かつ高度化
- 札幌市では、分野横断的かつ相互連携して取組を進めることを目的として、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン（戦略編）※計画期間：2022年度～2031年度」において「ユニバーサル（共生）プロジェクト」を設定



- 2024年6月には、「ユニバーサル展開プログラム」を策定。ユニバーサル（共生）プロジェクトに掲げる施策に紐づく238事業（再掲含む。）を設定（事業の詳細については、次ページ又は参考資料●を参照）。また、同プログラムでは、関係施策の展開方針として、「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策の推進」「市民・事業者との協働による施策展開」「施策間の連携の促進」などを位置付け、全庁を挙げて取組を進めていくことを明記
- 今後も、同プログラムに基づく施策・事業の進捗管理を適切に行い、取組のスパイラルアップを図っていくとともに、2025年3月制定の「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例（愛称：つながるさっぽろ条例）」などを踏まえながら、施策の更なる推進にも取り組んでいく。



（参考）推進体系図



## 【参考】ユニバーサル展開プログラムについて

- 戦略編の「ユニバーサル（共生）プロジェクト」の各施策に紐づく個別事業238事業（再掲含む。）を一覧化して整理。以下には、各施策に紐づく主な個別事業を掲載。

プロジェクトの三本柱①	誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設などの整備～移動経路・建築物～	ハード
-------------	---	-----

1 札幌市バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区内の生活関連経路や主要公園のトイレ・園路・駐車場のバリアフリー化を推進します。

- 安全・安心な道路環境の整備事業（21ページ）
- 安全・安心な公園再整備事業（21ページ）など

2 中小規模の飲食店・診療所等のほか、宿泊施設のバリアフリー改修等への支援を行うなど、民間建築物のバリアフリー化を促進します。

- 民間公共的施設バリアフリー補助事業（23ページ）
- 宿泊施設バリアフリー化推進事業（23ページ）



3 既存の市有建築物や災害時に避難所の機能を担う学校施設のバリアフリー改修を推進するほか、区役所庁舎などへのユニバーサルデザインの導入や表示の多言語化を推進します。

- 公共施設バリアフリー化促進事業（27ページ）
- 学校施設バリアフリー化整備事業（27ページ）など

4 500m未満の小規模の民間建築物や市有建築物について、建築主などがより対応しやすいバリアフリー化の整備基準を設定します。

- 福祉のまちづくり推進事業（29ページ）

5 駅などの旅客施設のバリアフリー化を進めるほか、ノンステップバスやUDタクシーの導入を促進するとともに、再生可能エネルギー等を利用したロードヒーティングの導入を進めるなど、地下鉄駅のエレベーターとタクシー・バス乗り場の冬季の乗換機能を強化し、四季を通じて円滑に移動できる交通環境の整備を進めます。

- 地下施設バリアフリー化推進事業（30ページ）
- 地下鉄駅旅客用トイレ改良事業（30ページ）
- 地域公共交通利用環境改善事業（30ページ）など



プロジェクトの三本柱②	当事者への支援と情報発信の充実～制度・情報～	ソフト
-------------	------------------------	-----

1 社会から孤立し、不安や悩みを抱える女性への支援や障がい特性に応じたコミュニケーション支援など、年齢、性別、国籍、民族、障がいの有無等に応じたサービスや制度を充実させます。

- 多文化共生推進事業（35ページ）
- 性的マイノリティ支援事業（36ページ）
- 認知症地域支援推進事業（38ページ）
- 子どもの権利推進事業（42ページ）など

2 災害時における要配慮者などへの避難行動や避難生活における支援を充実させるほか、男女共同参画や多文化共生の視点に立った防災体制づくりを推進します。

- 要配慮者避難支援対策事業（47ページ）など

3 都心における地下ネットワーク等の案内サインの充実化・統一化を進めるほか、官民連携により、車いす等で移動できるバリアフリー経路の情報発信や冬季の移動を支援するツールの活用などを促進するとともに、介助手配等の情報を異なる交通機関の間で共有できる仕組みを構築するなど、四季を通じて円滑に移動することができるサービスの実現を目指します。

- 観光客受入環境整備事業（48ページ）
- ユニバーサル推進事業（49ページ）など

プロジェクトの三本柱③	心のバリアフリーの浸透と誰もが自分らしく活躍できる環境の整備～意識～	ハート
-------------	------------------------------------	-----

1 学校において子どもの多様性を尊重した学びを実践していくとともに、子どもの権利やジェンダー平等、障がいのある方や高齢者の特性や困りごとへの理解の促進など、市民や企業等の意識向上に向けた取組を推進します。

- 「人間尊重の教育」推進事業（50ページ）
- 人権啓発事業（50ページ）
- アイヌ伝統文化振興事業（52ページ）など

2 企業における性的マイノリティへの理解やワーク・ライフ・バランスに関する取組を推進するほか、高齢者や障がいのある方、女性、外国人等の社会参加・雇用を促進するなど、誰もが自分らしく活躍できる環境の整備を進めます。

- 男女がともに活躍できる環境づくり応援事業（53ページ）など

3 障がい者スポーツの体験会の充実や障がいのある方向けの文化芸術イベントの開催など、スポーツや文化を通じた心のバリアフリーの浸透に向けた取組を推進します。

- 障がい者向け文化芸術体験事業（57ページ）など

## ② 成果指標の状況

「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」における「ユニバーサル（共生）プロジェクト」に掲げる成果指標の状況は次のとおり。

成果指標	当初値 (2022年度)	昨年度 (2023年度)	現状 (2024年度)	傾向	目標値 (2031年度)
①まちのバリアフリー化が進ん でいると感じる市民の割合	54.9%	53.5%	55.6% ※目標値：59.4%	↗	75.0%
②高齢者・障がいのある方等の 立場を理解し行動ができている 人の割合	37.0%	40.0%	40.4% ※目標値：44.3%	↗	70.0%

評価

- ①については、減少から転じて上昇傾向にあるものの、2024年度の目標値（59.4%）を下回っていることから、市有建築物や道路、公園等のバリアフリー化といった取組を着実に進めていくほか、ユニバーサルデザインのPR等を通して情報発信を強化していく。
- ②については、上昇傾向を維持しているが、2024年度の目標値（44.3%）を下回っていることから、つながるさっぽろ条例や心のバリアフリーの普及促進に力を入れていくことなどを通じて、更なる向上を目指していく。



▲農試公園（インクルーシブ遊具を採用した公園の整備）



▲つながるさっぽろ条例ロゴ



### ③ ユニバーサル関係施策・事業の状況

- ユニバーサル展開プログラム掲載の237事業（目標設定のない1事業を除く。再掲含む。）のうち、12事業（5.1%）が事業目標を既に達成。2027年度までに達成見込みの事業を合わせると、231事業（97.5%）が事業目標を達成見込みであり、順調に推移
- 事業目標を達成困難な事業は、耐震補強の追加検討が必要となった「旧札幌控訴院庁舎保存修理事業」、入札不調により事業実施に遅れが生じている「児童会館整備事業」「学校施設長寿命化改修事業」ほか計6事業
- 今後も関係施策の展開方針に掲げる「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施策の推進」「市民・事業者との協働による施策展開」「施策間の連携の促進」などを踏まえながら、各個別事業を着実に実施していく

プロジェクトの三本柱	施策	事業数	事業目標		
			達成済み	達成見込み	達成困難
①誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設などの整備～移動経路・建築物～	1 札幌市バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区内の生活関連経路や主要公園のトイレ・園路・駐車場のバリアフリー化を推進します。	7	1	6	0
	2 中小規模の飲食店・診療所等のほか、宿泊施設のバリアフリー改修等への支援を行うなど、民間建築物のバリアフリー化を促進します。	20	1	19	0
	3 既存の市有建築物や災害時に避難所の機能を担う学校施設のバリアフリー改修を推進するほか、区役所庁舎などへのユニバーサルデザインの導入や表示の多言語化を進めます。	17	2	11	4
	4 500m未満の小規模の民間建築物や市有建築物について、建築主などがより対応しやすいバリアフリー化の整備基準を設定します。	1	0	1	0
	5 駅などの旅客施設のバリアフリー化を進めるほか、ノンステップバスやUDタクシーの導入を促進するとともに、再生可能エネルギーを利用したヒーティングの導入を進めるなど、地下鉄駅のエレベーターとタクシー・バスの冬季の乗継機能を強化し、四季を通じて円滑に移動できる交通環境を整えます。	22	0	22	0
②当事者への支援と情報発信の充実～制度・情報～	1 社会から孤立し、不安や悩みを抱える女性への支援や障がい特性に応じたコミュニケーション支援など、年齢、性別、国籍、民族、障がいの有無等に応じたサービスや制度を充実させます。	106	4	101	1
	2 災害時における要配慮者などへの避難行動や避難生活における支援を充実させるほか、男女共同参画や多文化共生の視点に立った防災体制づくりを進めます。	6	0	6	0
	3 都心における地下ネットワーク等の案内サインの充実化・統一化を進めるほか、官民連携により、車いす等でも移動できるバリアフリー経路の情報発信を充実させるとともに、介助手配などの情報を異なる交通機関の間で共有できる仕組みを構築するなど、円滑に移動することができるサービスの実現を目指します。	9	1	8	0
③心のバリアフリーの浸透と誰もが活躍できる環境の整備～意識～	1 学校において子どもの多様性を尊重した学びを実践していくとともに、子どもの権利やジェンダー平等、障がいのある方や高齢者の特性や困りごとへの理解の促進など、市民や企業等の意識向上に向けた取組を推進します。	18	1	17	0
	2 企業における性的マイノリティへの理解やワーク・ライフ・バランスに関する取組を推進するほか、高齢者や障がいのある方、女性、外国人等の社会参加・雇用を促進するなど、誰もが活躍できる環境の整備を進めます。	24	2	21	1
	3 障がい者スポーツの体験会の充実や障がいのある方向けの文化芸術イベントの開催など、スポーツや文化を通じた心のバリアフリーの浸透に向けた取組を推進します。	7	0	7	0
合計		237	12	219	6
構成比		100%	5.1%	92.4%	2.5%

注:表中の数値は、端数処理を行っているため、合計した数は合計値と一致しない場合がある。

また、事業数については、施策ごとに重複計上している場合がある。

» 231事業、計97.5%が達成見込み（達成済み含む）